




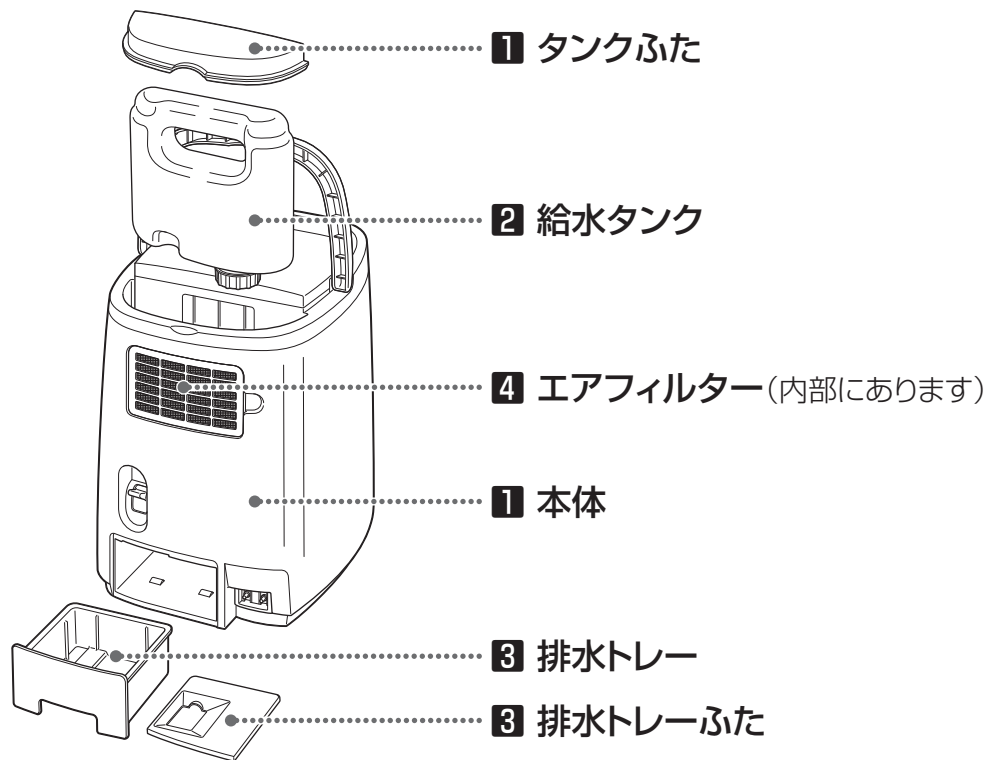
9 お手入れのしかた

より清潔に長くご使用いただくために、こまめにお手入れすることをおすすめします。
本体の吸込口周辺、水槽内部は汚れやすいため、以下の手順にしたがってお手入れし清潔な状態でご使用ください。

⚠ 注意

- 必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜いて、本体内部がさめるのを待ってから(約15分位)お手入れを行ってください。(やけど・けがの原因) 
- お手入れの際は、塩素系、酸性、アルカリ性合成洗剤は使用しないでください。
(洗剤分が残り、有毒ガスが発生して、健康を害するおそれ) 
- ベンジン・シンナー・みがき粉などではふかないでください。(変色・変形の原因)
- 本体に水をつけたり、かけたりしないでください。(感電・故障の原因)
- 落としたり、ぶつけたりして、損傷させないようにしてください。(水がこぼれたり、感電や発火の原因)
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがって使用してください。(変色・キズの原因)
- 清掃後は、必ず各部品を元通りにセットしてください。(やけど・けが・故障の原因) 

本体、タンクふた、給水タンク、排水トレー、排水トレーふた、およびエアフィルターの清掃

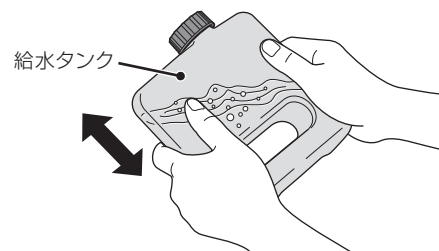


1 本体・タンクふたの清掃

汚れが気になるときは、表面を水を含ませてかたく絞ったやわらかい布でふいてください。

2 給水タンク内の清掃 (毎日)

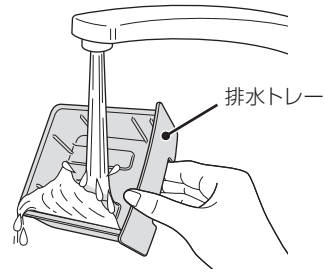
給水タンク内に水を半分ほど入れ、キャップを締めて給水タンクをよくふり、排水してください。



3 排水トレイと排水トレイふたの清掃（毎日）

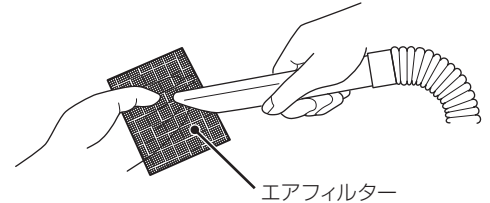
水洗いしてください。

※汚れが目立つときは、食器用中性洗剤を薄めた水を含ませたやわらかい布やスポンジで洗った後、水洗いして洗剤分をよく洗い流してください。



4 エアフィルターの清掃（1週間に1回程度）

フィルターカバーをはずし、エアフィルターを取り出し、掃除機などでエアフィルターのほこりを吸い取ってください。



⚠ 注意

- 掃除機でエアフィルターを吸い込まないように注意してください。
- エアフィルターをはずしたまま運転すると内部にごみが付着し、故障の原因になります。

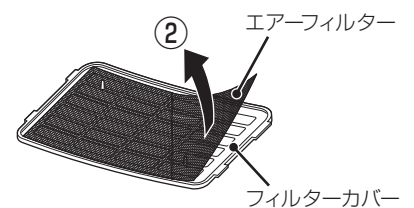
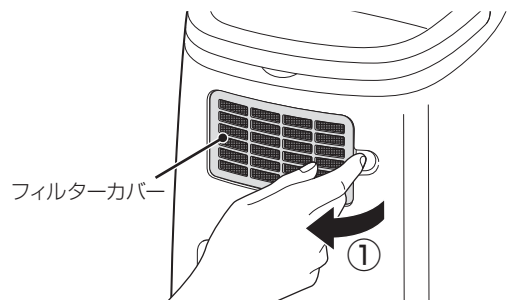
お知らせ

- エアフィルターは使い続けるうちに変色することがありますが、使用上の不具合はありません。
- 汚れがひどくなりますと風の出かたが弱くなりますので、早めに清掃してください。
- エアフィルターの汚れがひどいときは、水またはぬるま湯でのつけ置き洗いが可能です。洗った後は、よくすすぎ陰干して十分に乾燥させてください。

フィルターカバー、エアフィルターのはずしかた・取りつけかた

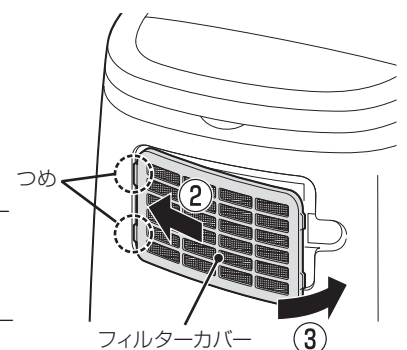
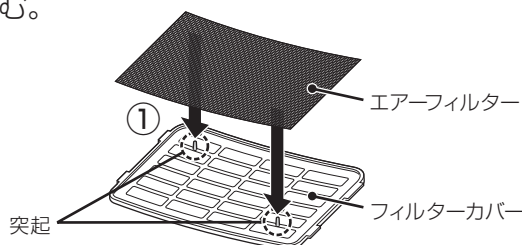
はずしかた

- ①フィルターカバーの右端を矢印方向に引き、取りはずす。
- ②フィルターカバーからエアフィルターを取りはずす。

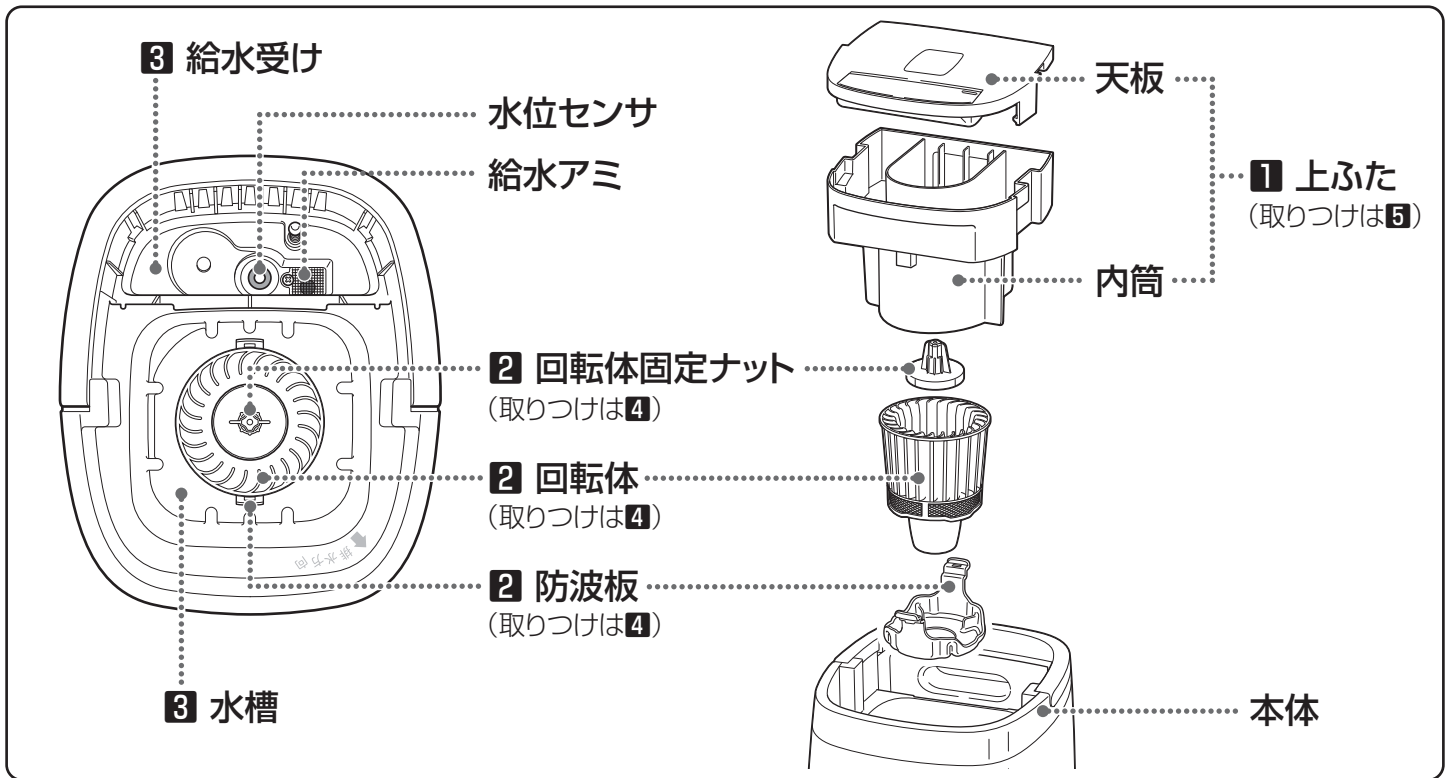


取りつけかた

- ①エアフィルターをフィルターカバーの突起（2カ所）に差し込む。
- ②フィルターカバーの左側のつめ（2カ所）をはめる。
- ③フィルターカバーを本体に押し込む。

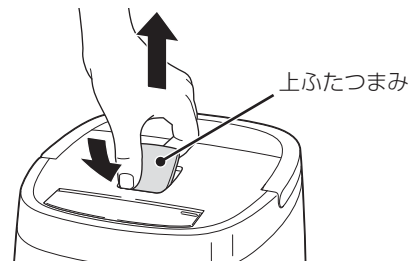


上ふた、回転体、回転体固定ナット、防波板、水槽、給水受けの清掃



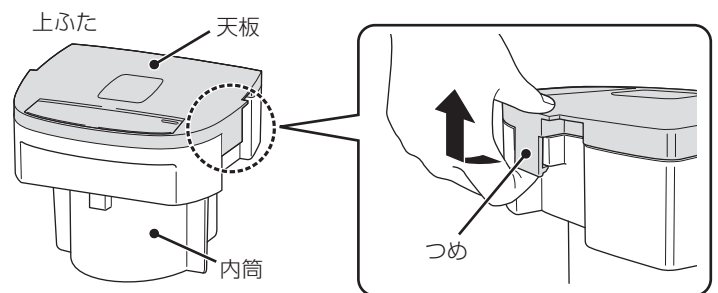
① 上ふた (天板と内筒) の清掃 (1週間に1回程度)

①上ふたつまみの前側を押してつまみを起こし、引き上げ上ふたをはずします。

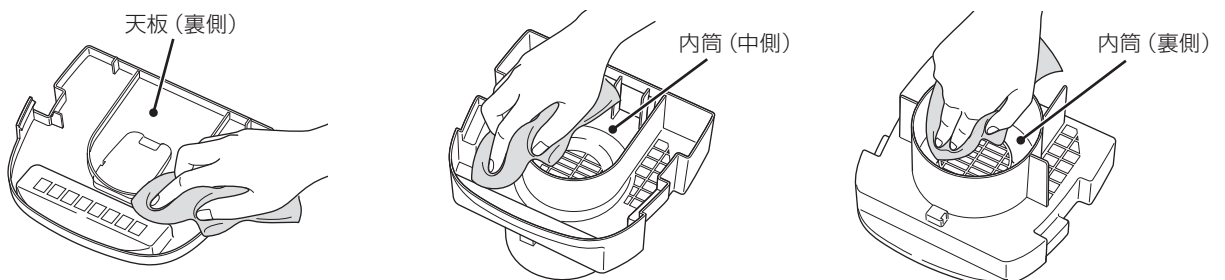


②上ふたの左右両側のつめを、片方ずつはずし、天板から内筒をはずします。

●つめをはずす際に、過度に力を加えないようにしてください。



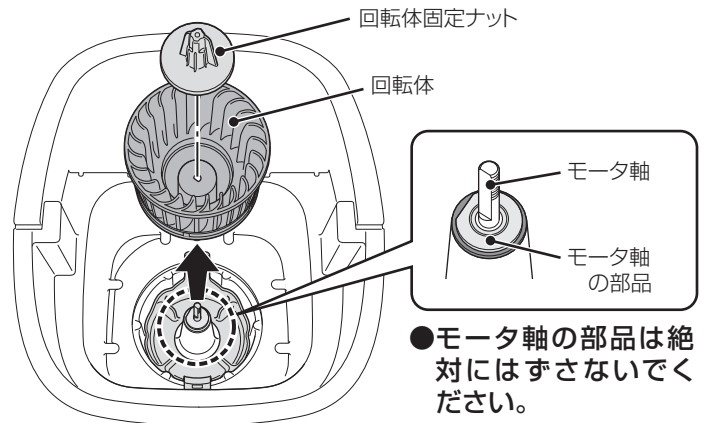
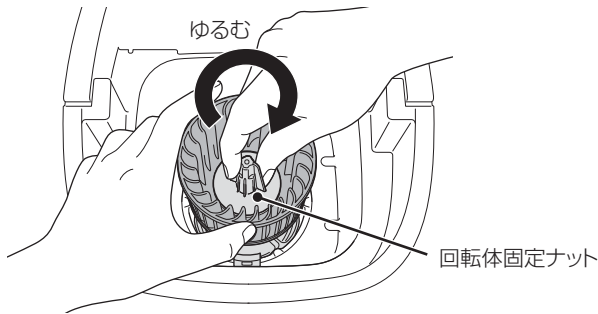
③天板・内筒をやわらかい布またはスポンジで水洗いした後、乾いた布でふいてください。



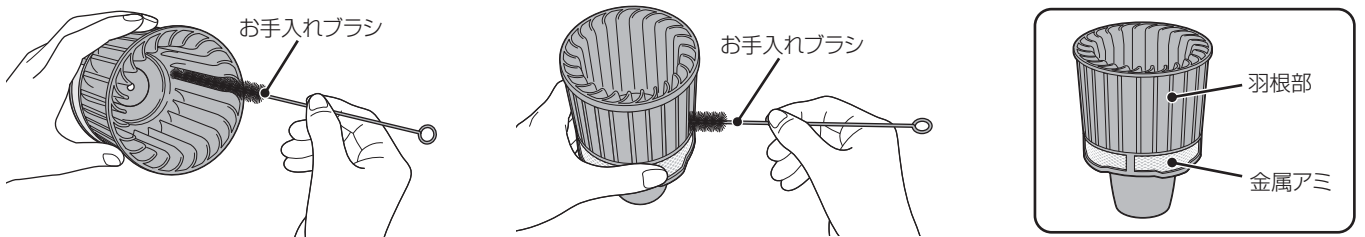
●汚れや臭いが気になるときは、食器用中性洗剤をやわらかい布またはスポンジに含ませて洗った後、水洗いして洗剤分をよく洗い流してください。(汚れがとれにくいときは、16ページを参照)

2 回転体・回転体固定ナット・防波板の清掃（2週間に1回程度）

- ① 回転体をおさえ、回転体固定ナットを右に回してはずしてください。（右回りに回すとゆるむ）
- ② 回転体を真上に引き抜いて取りはずしてください。



- ③ 回転体および回転体固定ナットを付属のお手入れブラシやスポンジで水洗いしてください。

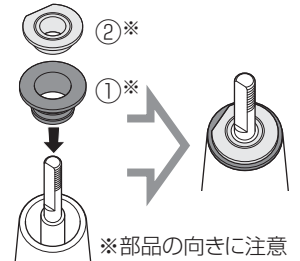


⚠ 注意

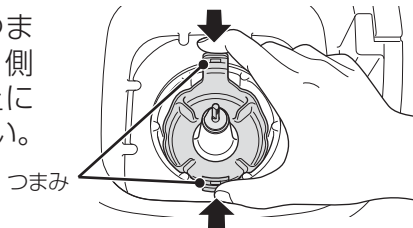
- 回転体の金属アミははずさないでください。（変形・損傷・けがの原因）
- 回転体に無理な力を加えないでください。（変形・破損の原因）
- 回転体の金属アミに素手で触れないでください。（けがの原因）

お願い

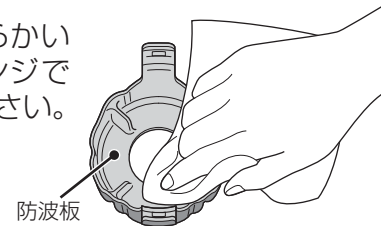
万一、モータ軸の部品をはずしたり、部品が浮き上がってしまった場合は、図の順に下まで確実に取りつけてください。



- ④ 防波板の両側のつまみを図のように内側に押しながら真上に引き抜いてください。



- ⑤ 防波板をやわらかい布またはスポンジで水洗いしてください。



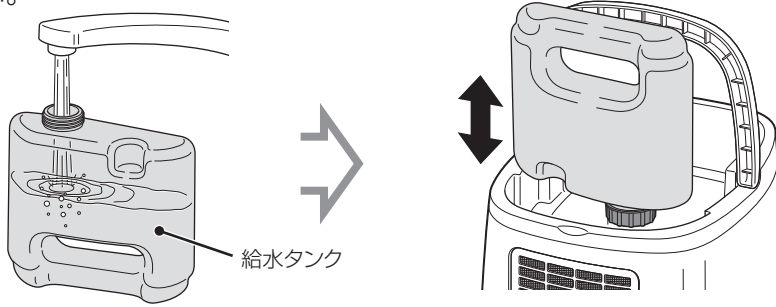
- 汚れや臭いが気になるときは、食器用中性洗剤を用いて付属のお手入れブラシやスポンジで洗った後、水洗いして洗剤分をよく洗い流してください。

回転体・内筒・防波板の水あか（白や茶色の固まり）が取れにくい場合

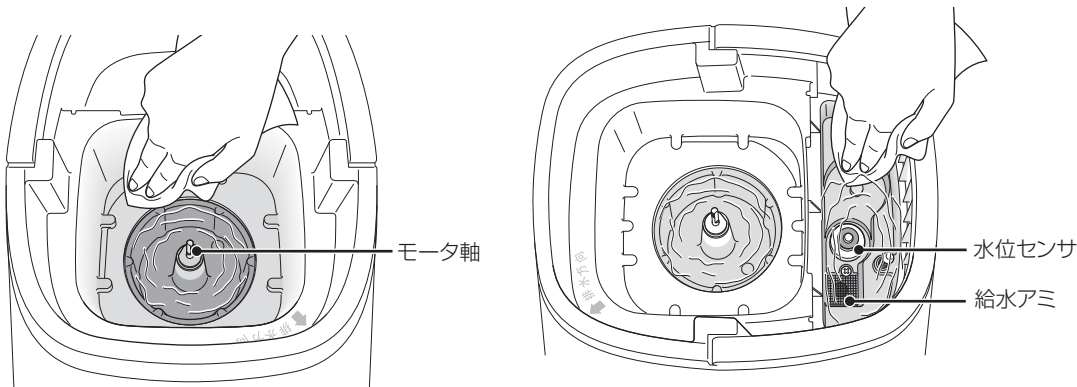
- ① バケツ等の容器に水またはぬるま湯（約40℃以下）を入れ、クエン酸を入れて溶かす。
 使用量：水1Lあたり約10g（大さじ1杯）の割合で入れてください。
 （濃度が高いと回転体・内筒・防波板の損傷の原因になります。）
 クエン酸は薬局・薬店で市販されているものをご使用ください。
 クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。
- ② 回転体・内筒・防波板を入れて、つけ置き洗いをする。（約2時間）
 よごれが取れにくい場合は、水を含ませたやわらかい布やスポンジで洗ってください。
- ③ すすぎ洗いをする。
 水洗いしてクエン酸をよく洗い流した後、乾いたやわらかい布でふいてください。
 （クエン酸の成分が残ると、臭いや故障の原因になります。）

3 水槽・給水受けの清掃 (2週間に1回程度)

①給水タンクに水を入れ本体にセットし、「ポコポコ」という音がしなくなったら給水タンクを取り出してください。



②水を含ませたやわらかい布で水洗いしてください。

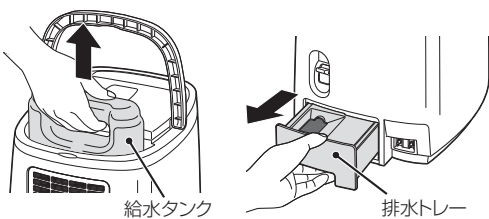


●水位センサと給水アミの周辺のゴミなどは取り除いてください。

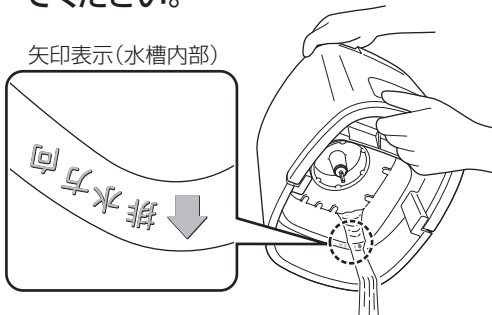
③洗浄で汚れた水槽内の水は、排水レバーを下げ、排水トレーで捨ててください。(12 ページ参照)

水槽内に水や細かいごみが残る場合の排水方法

①給水タンクと排水トレーを取り出す。



②水槽内部の「排水方向」を確認して、矢印表示の角からゆっくり排水してください。



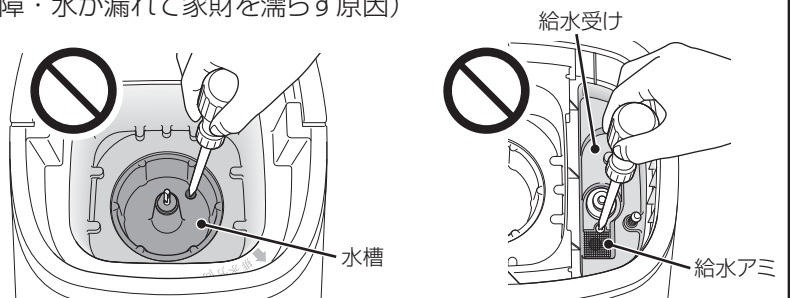
●モータ軸部の部品がはずれることがありますので、なくさないようにしてください。

⚠ 注意

- 清掃する際、本体を横にしたり、逆さまにしないでください。
- 本体の底部・マグネットプラグ受けは濡らさないでください。(感電・故障の原因)
- モータ軸の先端でけがをしないように注意してください。

お願い

- 水槽内の「この面以上に水を入れない」の面以上に水を入れないでください。(故障・水が漏れて家財を濡らす原因)
- 水槽や給水受けの底を先端の鋭いものでつつかないでください。(故障・水が漏れて家財を濡らす原因)
- 給水受けの給水アミははずさないでください。(故障・水が漏れて家財を濡らす原因)

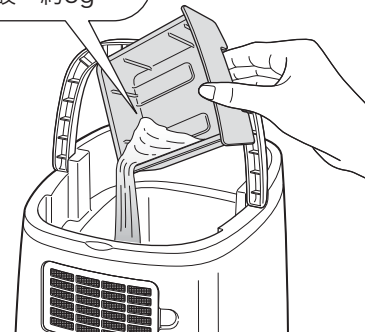


水槽や給水受けの水あか(白や茶色の固まり)が取れにくいとき

つけ置き洗い

- ①排水トレーに約350mL水またはぬるま湯(約40℃以下)を入れ、クエン酸を入れて溶かす。
使用量：水350mLあたり約5g(大さじ2分の1杯)の割合で入れてください。
- ②排水トレーのクエン酸を溶かした水またはぬるま湯を、給水受け側から静かに注いでください。クエン酸を溶かした水またはぬるま湯をこぼした場合はふき取ってください。
(濃度が高いと回転体や内筒の損傷の原因になります。)
クエン酸は薬局・薬店で市販されているものをご使用ください。
クエン酸は食品添加物で食品衛生上は無害ですが、幼児の手の届かない所で保管してください。
- ③つけ置き洗いをします。(約2時間)
つけ置き洗いの後、水を含ませたやわらかい布で水洗いする(17ページ参照)と効果的です。
- ④洗浄で汚れた水槽内の水は、排水レバーを下げ、排水トレーで捨ててください。(12ページ参照)

- 水またはぬるま湯…約350mL
- クエン酸…約5g



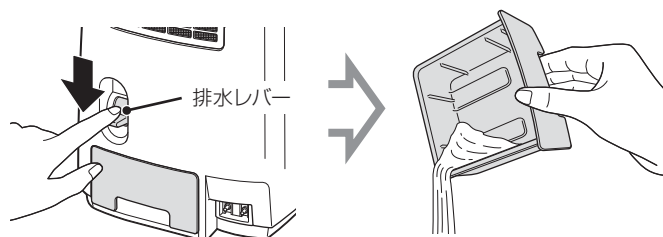
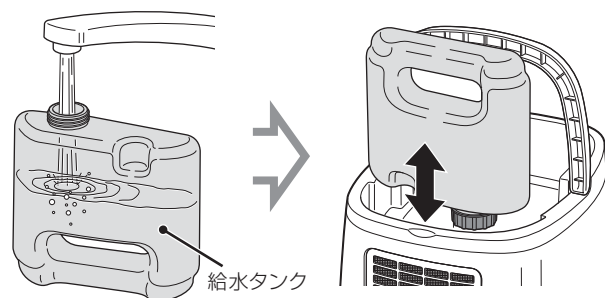
⚠ 注意

- 本体の外側やマグネットプラグ受けを濡らさないでください。
(感電・けがの原因)



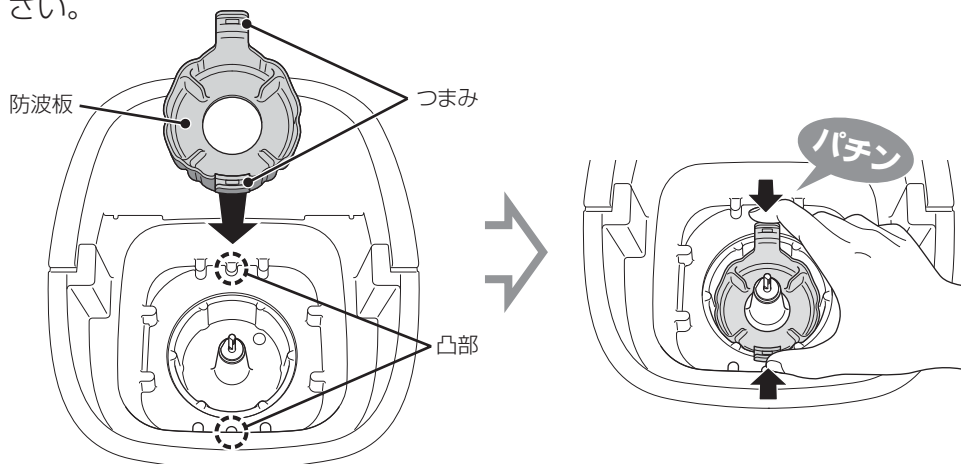
すすぎ洗い

- ⑤給水タンクに水を入れ、本体にセットします。
- ⑥「ボコボコ」という音がなくなったら給水タンクを取り出します。
- ⑦すすぎ水は、排水レバーを下げ、排水トレーで捨ててください。(12ページ参照)
 - 排水トレーが空であることを確認してください。
- ⑧もう一度⑤～⑦の操作を繰り返します。このときは給水タンク内に残っている水を使うため、再度給水タンクに水を入れる必要はありません。
 - 水や細かいごみが残る場合は、排水トレーを取り出し、水槽内部の「排水方向」を確認して、矢印表示の角からゆっくり排水してください。

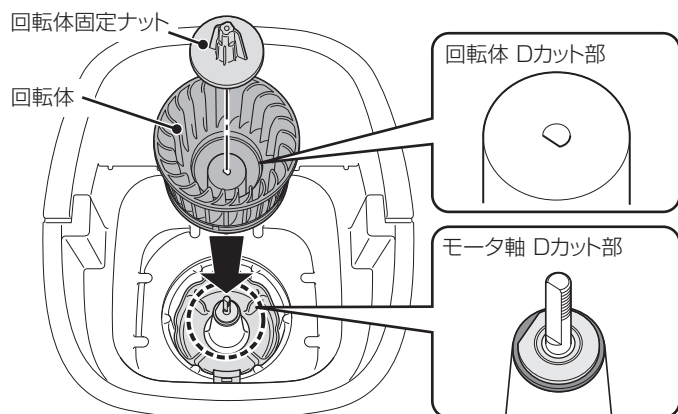


4 防波板・回転体・回転体固定ナットの取り付け

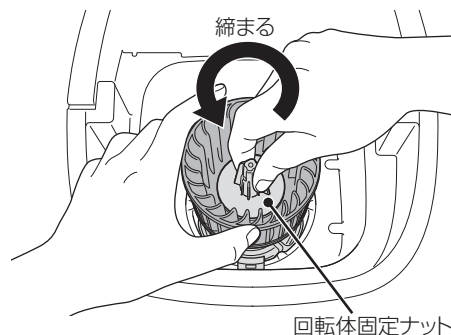
①防波板のつまみの向きを水槽の底にある前後の凸部にあわせ、「パチン」と音がするまではめ込んでください。



②回転体とモータ軸のDカット部をあわせ奥まで確実にセットする。



③回転体をおさえ回転体固定ナットを固定する。(左回りに回すと締まる)



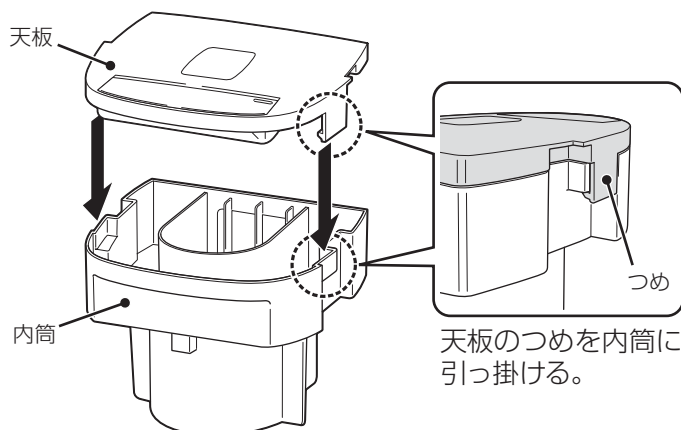
お願い

- 回転体固定ナットを回すとき、工具等を使わないでください。
- 防波板・回転体・回転体固定ナットを斜めに固定しないでください。
(異音・破損・故障の原因)



5 上ふた(天板と内筒)の取り付け

①天板を内筒にかぶせ、左右両側のつめを引っ掛ける。



②上ふたを本体に取り付け元に戻す。

